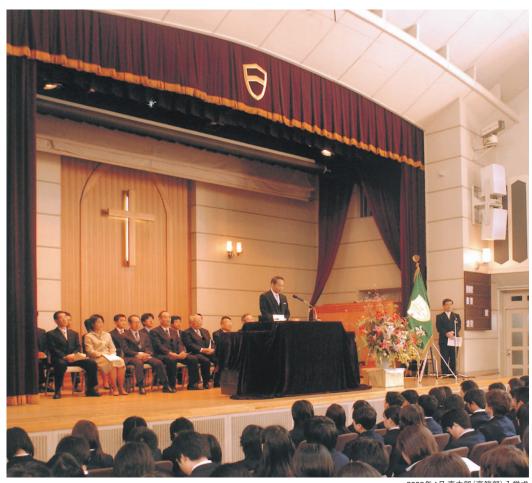
# Wesley Hall News



青山学院スクール・モットー

2003年4月 高中部 (高等部) 入学式

地の塩、世の光 The Salt of the Earth, The Light of the World (新約聖書 マタイによる福音書 第5章13~16節より)

9.17/2004

# 説教喜び 石丸泰樹 ●青山キャンパス再開発の第一歩 初等部校舎建て替え ● 「よきサマリア人」 の譬えの挿絵 細田あや子 …………8 ●青山学院資料センター所蔵のキリスト教貴重文献・史料 その8 氣賀健生 …10

●キリスト教図書紹介 **代表的日本人** 芹田敏夫 ……………………………12 ●私の教会 **日本キリスト教会 大森教会** 中井章子 ……………13 

## 説教

# 喜び

ヨハネによる福音書 第15章11節



# 石丸 泰樹 中等部宗教主任

秋の学期が始まりました。各部の、幼・初・中 ・高・大学の一年生の皆さんは今、思いを新たに しておられることでしょう。上級生の方々も秋の 学院生活を充実させようと様々なプランを心の中 で練っていらっしゃることと思います。

私達は誰しも、幸せな学院生活を送りたいと願います。主イエスも「あなたがたの喜びが満たされるため(11節)」とおっしゃって、私達が喜びに満ちた人生を送ることができるようにと、み言葉を下さいました。私達は皆、幸せになりたいと望んでいます。しかし、幸せや、喜びはなかなか自分の所に来てくれませんし、訪れて来たとしても、長く留まってはくれません。主は「わたしの喜びがあなたがたの内にあり」とまでおっしゃって、主の喜びで満たそうとして下さっているのに、私達は、主の喜びどころか、自分の小さな喜びでさえ守れないでいるのではないでしょうか。それでは、聖書ではどんな注意をして下さっているのでしょうか。喜びを知らない人生を送る人は、どんな人だといっているのでしょうか。

#### 一、自分を愛することのできない人。

「自分を愛す」とは、エゴイズムのことではありません。自分を十分に愛すことのできない人、自分を大切にすることができない人です。「しかたがない」「どうせ」などという思いに引きこもってしまうことではないでしょうか。早々と自分に見切りをつけてはいませんか。簡単に諦めてしまってはいませんか。「希望を持つ。期待を抱く。諦めない。」友達にたいして、心からの友情をもって私達は助言し、忠告します。しかし自分に関しては、さっさと諦めてしまう自分を許

してしまってはいないでしょうか。

スイスの心理学者ユングは「普通の人は自分 の中の潜在能力の50%くらいしか開発してい ない。あとの半分は置きっぱなしにしている」と 言っています。最近の学者たちは、さらに「平均 して5~6%くらいしか生かしていない」とさえ 言うのです。実に90%以上。ということは、預 かったタラントンをまるまる全部地に埋めた、 あのマタイ25章の僕のような生き方をしている ということになります。日野原重明先生も、私 達は自分の脳の働きの内25%しか生かしていな い、老人になっても新しい生き方ができると言 って、「新老人の会」を始められました。日野原 先生の呼び掛けによって、60歳を過ぎてから、 サラリーマン時代には思い付きもしなかった様 々な分野に、若々しくチャレンジして行く人々 が沢山現れました。自分の可能性に、知らない うちに蓋をしてしまわないようにしましょう。

この学院に用意されている沢山のチャンスを用いると共に、時間割りなどのように決められたことに毎日熱心に取り組むことは勿論、友人との交流やクラブでの活動、読書や音楽、思索や聖書への傾聴など、期待と喜びをもって前に進む自分を支え、励まして行くのです。親が自分の子供に対してなら気付くように、私達は自分自身に対して大切なことに気付く者になりましょう。

二、友人でも家族でも、そして誰に対してで も、相手をあるがままに受け入れることのでき ない人。 私達は勿論、人を愛す事ができます。自分を大切にすることができます。しかしそれは条件付きであることが本当に多いのです。思いどおりにならない自分を気に入らないのです。自分の期待に添わない友達はめんどうなのです。先生は生徒を、親は子供を、いつも自分の条件に合うかどうか最初に考えてしまうのです。そうすると友達はいなくなりますし、先生は生徒から疎まれます、親は素直だった子供が、どうして自分の思いどおりにならなくなってしまったのか分からなくなるのです。自分の愛や指導に応えてくれないのでいらだつのです。相手に対しても、自分に対しても満たされない思いが残ってしまいます。

「あなたがたの喜びが満たされるため」

(ヨハネ15:11)と主は言われます。

「喜びは愛。/喜びは、愛に燃える心の/当然の実りです。/喜びは、/なくてはならないものであり、/目に見える力の源。

(マザー・テレサ) 」

残念ですが私達人間の愛は、条件付きでなければ成り立たないことが多いのです。特に日本においては、無私の愛を誓う結婚の場合でさえも、沢山の条件がからまってしまいます。その条件のどれかが満たされなくなった時、大きな破綻を招く結果にさえなるのです。本来の愛には、何の条件も必要ではないのにです。

無条件の愛はあるのでしょうか。それは、どんな愛なのでしょうか。

「宗教」と言う言葉は英語でRELIGIONと言います。これはラテン語のRELIGIOに由来します。

「結び付ける」という意味です。どうしたら、神と人とを結び付けることができるか。このことを教えてくれるものが「宗教」なのです。神と自分とをしつかりと結び付けるために、困難な修行が必要だという教えもありましょう。莫大なお金を求めたり、神秘的な儀式や、特別な祈祷を必要とする教えもあるようです。人間が、神様の方を励ましてあげたり、力付けてあげたりしなければならないような、まことに頼りない、人間臭い神様と「結び付いて」しまっては、共にいても何の平安も得られません。

本来結び付かない、絶対的な方である神様と、

弱く相対的な存在にすぎない人間とを揺るぎない 絆でしつかりと結び付ける、そうした道を示して 下さったのが主イエス・キリストです。主は「私 を見たものは、父を見たのだ(ヨハネ14:9)」 と言われました。その神様と私達が一つでいられ るようにと、主は最後に祈って下さいました(ヨ ハネ17:21-23)。その神様というのは、どん な神なのでしょうか。超然として私達の問題には 関知されない方でしょうか。呪いや怒りの神で、 しよっちゅうなだめたり、機嫌を伺ったりしなけ ればならない神でしょうか。何を考えているか分 からない、ワンマンな上役のような神様でしょう か。親しめるけれども、わがまま勝手な家族や友 人のような神様でしょうか。

聖書は「神は愛です(ヨハネー4:16)」と断言します。「力の源となるような溢れる喜びの愛の神です」と言うのです。どこから見ても、人生のどの出来事から考えても、金太郎飴を切ったときのように、愛の神の輝きに出会うことができると聖書は言います。

その「愛の神」と私達を「結び付けて下さった」のが主イエス・キリストなのです。

喜びは、全く無条件に愛されているという実感から生まれます。自分を愛することも、人をありのままに受け入れることも、無条件の絶対的な愛に包まれ、育まれた時の喜びの中から紡ぎ出されていくのです。

主イエスはその全生涯を捧げて、私達を無条件 に愛して下さいました。

主は無条件にザアカイに呼び掛けられました (ルカ19:5)。無条件に真っ直ぐに名を呼ばれたザアカイは「喜んでイエスを迎えた」のです。 その喜びが、ザアカイの心から今までの生活への深い、徹底的な悔い改めを導き出したのです。 またザアカイが「だれかから何かだまし取っていたら、(ルカ19:8)」と正直に告白をし、180度方向転換をした、新しい生活への決心を口にしますと、主は全く無条件に、過去のことには全然触れずに、「今日救いがこの家を訪れた」と言われました。

皆様の秋の学院生活が、豊かな喜びに満たされ ますように。

# 青山キャンパス再開発の第一歩 初等部校舎建で替え

樋口 善一 初等部部長



相模原キャンパス開学という大事業を成し遂げた青山学院は、次の照準を「青山キャンパス 再開発」にあわせて具体化が進められつつあります。今回の初等部建て替え事業は、青山学院 創立130周年を機に「AOGAKU EVERGREEN 21 構想」と題して展開される中期事業計画の一環としておこなわれるものです。

現在の初等部校舎は、1964年(昭和39年) 東京オリンピックに伴う高速3号線の建設を 期に現在の場所に移転し40年の歳月が流れよ うとしています。現在の校舎が建てられた当時 は建築ラッシュでもあり、建築基準も甘く大規 模地震に対する危機感もほとんどない時代で した。築後40年を経過して予想以上の速さで 老朽化が進行し耐震診断の結果も良好ではあ りませんでした。大規模地震に対する対策をさ まざま検討しましたが、抜本的に対応するには 校舎建て替えが必要との結論に至りました。

初等部の卒業生にとっては、そこここにたくさんの想い出と懐かしさが、ぎっしりと詰まっている校舎がなくなってしまう寂しさをしみじみと感じておられる方々も少なくないことでしょう。特に玄関を入ってすぐ左側のタイルが保存できないのが非常に残念です。このタイルは、初等部が木造校舎から現在の校舎へ移転するときに、在校していた児童全員が一人1枚ずつ描いた絵を松江先生(図工)が焼

いてタイル壁にした想い出深い作品なのです。 当初は他へ移設する計画で検討してきましたが、 薄い磁器タイルであるために移設は困難とい うことです。現在はこのタイルを写真に撮って、 壁紙にして残す方法を検討しています。また、 現在の礼拝堂に設置されているステンドグラス、 パイプオルガン、両壁面の十字架の道行きな らびに正面の十字架と燭台は、新しくできる「米 山梅吉記念礼拝堂」に移設されます。



礼拝はクリスチャンスクールの要です。初 等部に学ぶ一人ひとりが聖書のみことばに耳 を傾け、感謝の心をもって祈り、賜を活かし 神と人に仕える人間を育てるための器として の礼拝堂を大切に考えてきました。青山学院 第6代阿部義宗院長 (1933~1939年) は、「学 院の急務は、幼稚園を設け、小学校を建て、幼 児に基督教々育を徹底させるにありませう。」(院 長就任演説文)とし、初等キリスト教教育機 関の開設を熱望していました。この志に三井 信託銀行の創設者であり、日本ロータリーク ラブの創始者でもある校友米山梅吉先生が財 政面を含めた全面的な援助をしてくださいま した。1937年(昭和12年)米山先生は、当時 の情勢から青山学院とは別法人の「青山学院 小学財団」を組織し、同じ敷地に初等部の前 身である青山学院緑岡小学校を開校され、校 長に就任されました。当時の校訓は「人から されて嬉しかった事は、人にもそのようにし なさい。人からされていやであった事は、人 にもしてはいけない。」という、キリスト教信 仰に基づく愛を、絶えず子どもに説いて居られ、 ご自身も奉仕の一生を全うされました。今回 新しくする礼拝堂は、「米山梅吉記念礼拝堂」 として米山先生の足跡が具体的な形で残され ることとなります。

新しい初等部は、既存の樹木と日本庭園を 活かした施設配置と全体がWOODを基調と した構成となります。日本庭園に隣接する位 置(現在の低学年棟)に礼拝堂が設置され、木 漏れ日がステンドグラスを通して礼拝堂に降 り注ぎます。礼拝堂は、第3期工事として 2007年2月の竣工予定になっています。現在 の中高学年棟は、今年11月から解体され新し い低中学年棟の工事が着工されます。この棟 には、食堂、図工室、英語室、音楽室、プレールー ム等が併設されます。完成は2006年2月に なる予定です。元初等部正門脇にあった温水プー ルだった所に新しい高学年棟と学習センター、 メディアセンター、多用室、温水プール等が 設置されます。9月末には完成して、10月半 ばには3年生以上の学年が、新しい低中学年 棟が竣工するまで仮校舎として利用する予定 になっています。新しい時代を迎えて、初等 部がクリスチャンスクールとして児童一人ひ とりを大切に時代に対応した初等部でなけれ ばできない感性豊かな全人教育を夢と希望をもつ て力強く推進していきたいと考えています。

一人ひとりを大切にする教育を充実させるためには、第一に現在1学級40人の児童数を30人にする必要性を痛感しています。少人数学級を実現することによって、児童、教師、保護者が密に接しながら、児童の歩みを的確に把握し適切な指導、助言による、より質の高い教育の展開が可能となると考えています。新しい校舎は、1学級30人前後で1学年4クラスのオープン設計になっています。

第二は、児童の基礎・基本の力を確立するためのスモールサイズ学習システムの充実とカリキュラムの精選、教材、教具の整備が必要であると考えています。また、児童の興味・関心に対応して多様な内容を選択できるスペースとフレキシブルな学習時間の設定も重要です。個を生かす教育の確立は、学級一斉授業を前提にした従来の教育から脱して、個人に合わ

せたカリキュラムがデザインできるハードが 必要になります。このような学習を展開する ために各学年に2教室分のスペースに相当す る学年コーナーが設けられています。

第三に個を生かす教育を確立するためには、それを支える組織が的確に機能する必要があると考えています。初等部では、従来から1人の学級担任が40名の児童を受け持って、全てを取り仕切る学級王国の発想ではなく、1人の児童を60名の教職員全員で受け持ち指導するチーム発想の考え方で教育を進めています。そのために学年の担当者が連携しながら、学級や学年で起こる諸問題の解決や学習内容の精選、諸活動の企画・運営などチームとしての学年が機能することを大切にしてきました。今回の設計では、学年教員コーナー等も設定されています。

その他、学年全員が集まってのミーティン グや各種発表会ができる多用室、深さの調節 できる8コースの温水プール、ギャラリーや 資料展示コーナーを併設した特別教室、調べ 学習に対応した学習センター、情報教育を推 進させるメディアセンター等々さまざまな工 夫を凝らした暖かみのある新校舎が想定され ています。以上のように、初等部は、キリスト 教信仰にもとづく人間教育を基本としながら、 子どもたちに自分で考え、自分で判断し、自 ら進んで行動する生き方を問う教育を実践し てきました。結果さえ良ければという生き方 ではなく、どのように判断し、どのように行 動するかを大切にした教育、すなわち結果よ りプロセスを重視する新しい時代の教育を実 践するための新校舎設計になっています。



## 法科大学院のスタート

Lenz, K. F. 専門職大学院法務研究科教授



2004年4月から、青山学院大学で法科大学院の第1期生を迎え、活動を開始した。正式名称は「青山学院大学大学院法務研究科法務専攻」であり、英語での名称は「Aoyama Gakuin University Law School」となっている。

「法科大学院」とは、法曹教育の全面的改正を受けてできた全く新しい制度である。従来は、司法試験に挑戦することは、ほとんど誰でもできる制度であった。筆者はドイツ人であるが、ドイツのように、大学の法学部を卒業した者に限って受験資格を認める制度ではなかった。

この考え方を大幅に変更し、受験資格を原則として「法科大学院」卒業にした。その結果、新司法試験の受験生の数が大幅に減少し、その試験の合格率は従来の僅か数パーセントから大幅上昇することが期待されている。但し、当初の「7割合格」の目標からして、現状はより厳しいとの予測がある。全国の多くの法科大学院の学生総数などを見た上で推測すると、合格率が3割以下になる見通しになった。

法科大学院の入試のためには、大学入試センターおよび日本弁護士連合会の「法務研究財団」が主催する「適性試験」の受験が必要である。2005年度の入試における「適性試験」では、早くも2004年度と比べて、受験生の大幅減少を記録した。受験を検討している皆さんが、新司法試験の合格率が当初の予定より大幅に低いこ

とを評価していると思われる。

この厳しい状況の中で、青山学院大学の法科 大学院は、以下の教育理念に基づく:

- (1) キリスト教理念に基づく教育
- (2) 真理の探究
- (3) ヒューマニティにあふれ社会責任を果たせる法曹の養成
- (4) 国際的視野をもった法曹の養成
- (5)情報公開と参加。

これらの理念に基づいて、以下の点を教育方針としている:

- (1) 法曹に必要な専門的資質・能力の習得と豊かな人間性の涵養
- (2) 専門的な法知識の確実な習得
- (3) 批判的・創造的な思考力と法的な分析力・議論能力の養成
- (4) 先端的な法領域についての基本的な理解
- (5) 法曹としての倫理意識の涵養
- (6) 将来の進路の方向づけ
- (7) 少人数教育

また、カリキュラムの特色は、次のように設定されている。

- (1) 国際色ある科目を数多く提供している。その一部を列挙する:アメリカ法曹資格をもつアメリカ人教授による「アメリカ法」、ドイツ人教授(著者のこと)による「EU法」、「ドイツ法」、ワシントン大学(セントルイス)Law Schoolとの協定で教員2名を招き開講される「アメリカ法最新事情」、青山学院大学WTO研究センター関連科目、オーストラリア国立大学との間でテレビ会議システムを用いた「グローバルクラスルーム」、「国際法務入門」、「国際税法」、「国際取引法」、「国際人権法」、「国際刑事法」などである。
- ② 上記の理念の関係では、特に「法曹倫理」を 重視している。法曹には高い職業倫理が求められる。そのために、この科目には3名の教員の体制で臨み、次のような方針で開く:

「長年にわたる裁判官等としての経験、直接法 曹養成に携わった経験、あるいは弁護士非行等 の多くの事例に接した経験を生かして、学生に 対し、弁護士倫理を中心として、裁判官、検察官 の倫理を含めて、広く法曹一般が備えるべき「法 曹倫理」を、事例集等から問題となった事例を取り上げて検討させるなどしながら、一人一人の学生に、真に必要とされる「法曹倫理」を修得させるようにする。」

③「立法学」の科目を開講している。通常の場合、法科大学院では既に成立した法律の解釈・適用について研究している。しかし、その際には、法律はどのように制定されているのか、どのように優れた法案を作成するのか、法律の成立に向けての過程を研究することが有意義と思われる。
④ 政府は、21世紀の戦略として「知的財産立国」を2002年夏に採用した。20世紀のように、「物作り」を中心とする戦略では、中国などの人件費が安い国との競争に勝てない。そのため、知的財産の創造・保護・使用を強化するために、戦略的に必要な措置を採るように、「知的財産基本法」を2002年に制定した上、各種措置を検討している。

そのことを背景に、青山学院大学法科大学院は知的財産権分野を重視している。専任教員の一人は「知的財産法(1)」(特許法、商標法、不正競争防止法及び知的財産のライセンス契約)、「知的財産法(2)」(著作権法、肖像権・パブリシティの権利、知的財産のライセンス契約)及び「IT企業法務」(ソフトウェア特許、ドメイン名、電子署名など)を担当している。また、私(Lenz)も「ドイツ法」、「EU法」の講義で知的財産権を特に重視している。

法科大学院には「3年標準コース」と「2年短縮コース」がある。「3年標準コース」の場合、学生が今まで法律に関する知識がないことを前提に、司法試験に合格するために必要な課程を3年間で教えるものである。アメリカのLaw Schoolと同様の年数であるが、ドイツの制度と比べて短い期間と思われる。この短期間で法曹に必要な科目を修得することは、学生・教員両方に相当な負担をかけることになる。

「2年短縮コース」は逆に、既に法学部を卒業した者、その他、法律に関する勉強をした者を対象にしている。2年で卒業できるが、なお法科大学院の在籍年数が短くなる。

教員組織は、法学部との綿密な協力関係の上 に設計されている。法科大学院には15名の専任 教員がいる。現在は外国人一名(私)、実務家出身 5名、研究者出身10名の構成である。しかし、法学部の多くの教員も兼担教員として法科大学院で教えている。法学部の法学科教員は現在18名であるが、その内13名が法科大学院にも科目を担当しているから、法学部専門教員の大半が法科大学院に協力している状況である。

更に、法科大学院では「エクスターンシップ」「模 擬裁判」「ローヤリング」など実務家の協力を必 要とする科目もある。それらの科目について、青 山学院大学卒業の弁護士に多くの協力を得ている。

法科大学院のために青山キャンパスの3号館が全面的に改築された。1階には図書室と学生の談話空間が整備されている。2階、3階には自習室が設けられ、全ての机には情報コンセントが整備されてLAN環境での勉強ができる。4階には様々な規模の教室があり、無線LANでインターネット接続が可能になっている。

6号館の1階には本格的な模擬法廷が設置されている。「模擬裁判」の科目に使うが、その科目の説明は次のようになっている:「法科大学院を卒業して司法試験に合格した者が、直ちに実務庁における実務教育を受けるに際し対応し得るだけの実務知識・能力を身につけさせる教育を行う必要がある。このような視点から、民事及び刑事の基礎科目、民事及び刑事の実務基礎科目、総合演習等の学習を終えた学生に対し、そのまとめとして模擬裁判を体験させることにより、実務教育への導入を図ることにする。」

2004年度入試で多くの受験生が集まり、入試の結果としては、定員60名のところ、実際に60名の第1期生が入学した。入試の際、「社会人経験者選抜」(12名程度募集) および「他学部出身者選抜」(6名程度募集) のような特別枠を置いている。しかし、これらの特別枠の対象者であっても、一般入試への併願も認めている。第1期生には特に社会人経験者が多い結果になった。

これから数年は、新司法試験への移行に伴う 混乱が多いと思われる。「法科大学院」制度全体、 または青山学院大学法科大学院が軌道に乗るま でには、今後も様々な問題を解決しなければな らない。学内・学外関係者各位の協力を今後とも 必要とする。

# 「よきサマリア人」の譬えの挿絵

#### 細田 あや子

新潟大学人文学部助教授

「おーる あおやま あーと てん フォーラム´04」講師 講演内容をもとに、今回、原稿を書き下ろしていただきました。

旅行で海外に行くと、教会の壁画やステンドグラス、また彫刻作品の美しさに魅了されることがあります。また大きな美術館に足を踏み入れると、古代からの長い歴史文化に圧倒されますが、キリスト教文化の遺産も数多く見出されます。そのようななか、たとえば絵画作品で、聖母マリアが幼いイエスを膝に抱いている姿や十字架磔刑図は、ぱっと見ても描かれた情景を理解することができますが、その一方で、たぶんキリスト教関係の絵画だろうけど、どのような内容が込められているのだろう、といぶかしく思う作品を目にすることも少なくありません。でも、聖書を読んだことがあったり、礼拝で聞いたお話を思い出してみると、なるほどあの物語が絵画になっている、と納得できる場合もあります。そのような一例として、イエスが語った譬えの絵画について、いくつか作品をご紹介したいと思います。

「よきサマリア人」の譬えは、イエスの譬え話のなかでもよく知られているもののひとつです。強盗に襲われた旅人のかたわらを、祭司やレビ人といった聖職者は助けずに通り過ぎていったのに、異端者としてきらわれていたサマリア人が、憐れみの気持ちをもってその怪我人を助けたという内容です(ルカ福音書10,25-37)。このお話を実際に絵画として描いてみる場合、どうすればいかに効果的に視覚に訴えるものとなるでしょうか。このようなことを考えつつ、中世の作品をみてみたいと思います。

印刷技術が発明される以前の中世では、聖書などの本は羊皮紙にペンでテクストを書いて1冊1冊制作されました。ときには、さまざまな顔料を用いて挿絵が添えられることがあります。これは、ドイツで10世紀末から11世紀初頭に作られた聖書写本の1ページです(図1)。左上にある、四方を石壁で囲んだ町がエルサレムで、そこを出発した旅人がロバにのって登場するところが、その隣に描かれています。でもこの旅人、すぐに4人の強盗につかまってしまいます。強盗たちは棍棒や槍などを持って彼を殴りつけようとしますが、旅人の方も右足を伸ばし、ぐっと踏ん張って何とか抵抗しています。それが、ちょうどページの中央部分に描かれています。その下は、



(図1) 『オットー三世の福音書』 (ミュンヘン、バイエルン州立図書館CIm 4453)

そこを通りかかったサマリア人が、倒れた旅人を介抱し、それからロバから落っこちないように彼を支えにくくりつけて宿屋へと運ぶ場面です。右下の端に立っている人物が、話の筋からすると宿屋の主人のはずですが、裸足で農作業用の道具を持っていて、なんだかちょっとこの話に適していません。でも、サマリア人がちょうど2デナリオンを手渡すところで、彼の指で丸いコインが表現されています。

もう1枚も写本の挿絵ですが、これは、6世紀にシリアかパレスティナで制作されたと考えられています(図2)。左上のエルサレムの町を示す建築物の隣に、すでに強盗に襲われ道端に倒れている旅人へサマリア人が手を差し出して助けようとしているところが描かれています。その後旅人が宿屋へと運ばれます。ここでは強盗による襲撃の場面や、通り過ぎてゆく祭司やレビ人の姿は省略されています。それに対し、サマリア人のかたわらには大きな翼を持った天使が、怪我人のほうに身をかがめて立っています。天使について、もとの福音書のテクストでは何も言及されていません。それなのにこの天使はいったいどうしてここに現れているのでしょう。

天使の動作を注意深く眺めてみると、この天使は、両 手を自分の衣で覆いサマリア人の方にうやうやしく器



(図2) 『ロッサーノ福音書』(ロッサーノ大聖堂宝物室)

を差し出しています。その身ぶりは、典礼執行者を補助 し奉仕する人 (ディアコン) を連想させます。強盗に襲 われた人の介抱には、オリーヴ油と葡萄酒が用いられた、 とありますが、この天使の登場によってここでは、聖体 の礼儀あるいは病人への塗油の典礼が暗示されている と考えられます。

さらに注目されるのは、聖書では旅人を介抱したのは サマリア人といわれていたのに対し、ここでその役目を している人物がイエスの姿になっていることです。面長 で長い髪の毛とひげ、トゥニカとマントとサンダル姿は、 イエスに特徴的な容貌です。また頭の後ろのニンブス(光 輪)は、聖なる人物のしるしです。 つまり、ここでは福 音書のテクストの内容からそれて、譬えを語ったイエス 自身が譬え話そのものの中に入り込んでいるのです。こ のような変化には、挿絵を描いた側の考えが反映されて います。旅人に自分自身(人間全て)をあてはめ、強盗 に襲われ身ぐるみはがれて怪我をしても神の子イエス が助けて下さる、という絶対なる信頼が読み取れると思 うのです。それはまたこの場面の下の部分からも強調さ れます。そこには、旧約聖書に登場する4人の人物が、 それぞれ左から順に以下のテクストが書かれた巻物を 手にしています。

ダビデ: 主がわたしの助けとなってくださらなければ わたしの魂は沈黙の中に伏していたでしょう (詩編94,17)。

ミカ:神は慈しみを喜ばれ、再び我らを憐れむ (ミカ書7.18-19)。

ダビデ:主はわたしの味方、助けとなってわたしを憎む者らを支配させてくださる(詩編118,7)。

ラ: 人間の慈しみは、隣人にしか及ばないが、主の慈しみは、すべての人に及ぶ (シラ書18,13)。(新共同訳、一部変更)

ここでは、苦難の中にあって助けを得たという個人的 な経験に基づく言述と並び、人間を憐れむ普遍的な神へ の賛美、救済主である神への信頼が共鳴しています。

こうしてこの挿絵写本の1ページでは、新約の譬えの画像と旧約聖書の引用句とが組み合わされ、もとの譬え話のテクストを越えた世界が表現されています。写本制作者の意図が込められることとなり、そこからさらに新しい解釈の可能性も開かれます。聖書の物語が絵画化された場合、どのモティーフが選択されているのか、画像がどこに置かれているのか、と周囲との関係をみることによって、もとのイエスの譬えとは異なる意味を読み取ることも可能となるのです。

以上の作例から、聖書テクストが視覚化された場合、聖書の字句に忠実な挿絵だけではなく、もとのテクストから逸脱した描写もありうるということがわかります。イエスは、自分の考えや教えを人々に伝えるために譬えを用いて語りましたが、それが福音書に書きとめられ、さらに絵画化される過程で、イエスの考えとは異なる意味が付与されることになります。譬え図像というあまり見慣れないテーマでも、イエスに対する信仰の表明がそのなかに見出されるのです。教えを語った人、つまりイエスが今度は語り継がれてゆく、というプロセスが信仰の継承だと思います。イエスについて語るということには、大きく見ればイエスの図像を描出することも含まれます。これが宗教美術の特質の一つだと思いますが、譬え図像はその物語るという行為をヴィジュアル化したものともいえるでしょう。

## 青山学院資料センター所蔵のキリスト教貴重文献・史料

#### その8 一 切支丹禁制高札・踏絵 その他 ―

氣賀 健生

大学名誉教授

青山学院資料センター所蔵の貴重文献・史料紹介第8回。今回は文献はさて措いて専ら史料を御紹介します。当資料センターには、キリシタン禁制の高札とか、隠れキリシタン捜索のための踏絵(ふみえ)とか、大変貴重な史料が所蔵されています。以下順を追って御紹介しましょう。

まず皆さんが資料センターを訪れると、すぐ左側の高い所に6枚並んでいるのが「切支丹禁制の高札」です。(実はもう二枚あるのですが只今修復中です)。 墨が薄れて判読困難なものがありますが、正面に掲げられた高札は明瞭に読めます。

きりしたん宗門は累年 御禁制たり自然不審 成もの有之は申出べし 御褒美として

はてれんの訴人 銀五百枚 いるまんの訴人 銀三百枚 立ちかへり者の訴人 同断 同宿宗門の訴人 銀百枚 右之通可被下之たとへ同宿宗門 の内たりといふ共申出る品により 銀五百枚可被下陰置他所より あらハる〉におるてハ其所の名主 五人組一類共可被行罪科もの也

正徳元年五月 奉行 右の趣被仰出候条堅く 可相守もの也

八郎左衛門

(この八郎左衛門は五人組々頭或は名主でしょう)

1549 (天文18) 年、耶蘇会の宣教師フランシスコ・ザヴィエルが鹿児島に上陸、キリスト教の伝道を開始しました。当初織田信長、豊臣秀吉等の保護もあって教勢は進展、大名中にも改宗する者も尠くなく (キリシタン大名)、1582 (天正10) 年には全国の信徒15万、半世紀後には70万を数えるに至っ

たのです。秀吉は天下統一後、政策を一変してキ リシタン弾圧に乗出し、邪教としてこれを禁圧し、 江戸幕府はカトリック教国のスペイン・ポルトガ ルの領土的野心を警戒して遂に1639 (寛永16) 年、 鎖国に踏切りました。翌年宗門改役を設置してキ リシタン禁圧を徹底し、71年からは宗門人別改帳 を作成、九州地方で実施された踏絵(後述)と共に 幕府の切支丹弾圧政策の中核となりました。この 宗門改制は、寺請によって寺檀関係が確立し、僧 侶は幕府の戸籍吏として身分が保証されるにつれ て形骸化し、仏教腐敗の傾向のもととなったと言 われます。幕府は隠れ切支丹の密告を奨励し、年 た五人組の連帯責任=密告制度をフルに活用して、 キリシタン弾圧につとめました。この五人組によ る連帯責任や密告制度により、触らぬ神に祟りな しとか、長いものには巻かれる、という事勿れ主 義の卑屈な意識構造、事大主義などが、封建時代 の下部組織としての一般日本人民に定着していっ たことは否めないでしょう。五人組・人別改帳な どのコピーが高札の下に展示してありますから、 よく御覧になって下さい。

さて高札ですが、正徳元年 (1711) のものが圧倒的に多く、当資料室にも3枚を数えます。これはその3年前1708 (宝永5)年、イタリア人の神父シドッチ Sidottiが屋久島に上陸、直ちに逮捕、江戸送りとなり、新井白石の取調べを受け、以後一段と取締りが厳しくなったためです。(シドッチは1714年獄中で殉教死)。この高札にあるはてれん(伴天連)は神父・司祭のこと、いるまん(伊留満)は兄弟の意で修道士を指し、立ちかへり者とは一旦棄教した者が再び信仰を表明した場合にこのように呼ばれ、立ちかへり者の密告にはいるまんと同等の褒賞銀が与えられていたことからも、取締側でこれを重要視していたことが見えてきます。次に内容の異なる高札を見てみましょう。

切支丹宗門の儀者 是迄御禁制の通 固く可相守事 邪宗門之儀ハ 固く禁止候事

慶應四年三月 太政官

右之通被 仰出候不可遠背者也 京都府 明治四年十一月

まず明治四年という日付に注目しましょう。一 般に切支丹禁制は江戸時代のこと、と思われてい ますが、このように明治時代になっても禁教は続 いていたのです。明治政府は外交的に欧米諸国の 風当りを考慮して、「切支丹宗門の儀」と「邪宗門 の儀」とを分けて、キリスト教を邪教視している わけではない、と苦しい言い訳をしていたのです。 然し、条約改正交渉のために欧米諸国に派遣され た岩倉具視一行が、各国で、キリスト教弾圧を国 是とする国の使節として相手にされず、剰え或る 国では群衆から投石される有様で、本国へこの状 況を打電し、日本政府はこれを受けて1873(明治6) 年2月、太政官布告第68号を以て「従来高札面ノ 儀ハ一般熟知ノ事二付向後取除キ可申事」として 高札を撤去しました。然しこれは明治政府のキリ スト教迫害政策が欧米諸国の非難集中の的である ことを、上述のように岩倉一行の報告によって知り、 条約改正交渉を軌道に乗せるためにやむを得ず譲 歩したまでのことであって、それは高札撤去に過 ぎず、キリスト教の宣教や信教の自由などという、 実質的宗教政策転換の表明ではなかったのです。 このような高札が1873 (明治6) 年までは全国津々 浦々の街角に掲げられていたのでした。

当資料センターのもののうち3枚は校友小方二 十世氏寄贈。右奥の最も古いものは、1989年青 山教会寄贈。書かれた内容を赤外線カメラで確認





したのは本学史学科卒業生今津節生氏 (当時福島県立博物館勤務、現在奈良県立橿原考古学研究所員) でした。

さて、次に左奥の棚にあるのが「隠切支丹」関係 史料です。まず「踏絵」。これはキリシタンと疑わし い人物にキリスト像を踏ませてその反応を験すも ので、これ自体は儒教的心性をよく表わしています。 遠藤周作『沈黙』に余すところなく描かれている 通りです。当資料室には木版画のもの、布製のも のと青銅製のものがありますが、単に足をのせる だけではなく、踏み躙らせたと思われ、紙製や布 製品はすぐ破れてしまうので、次第に青銅製になっ たと思われます。紙製・布製のものには「切支丹 破天連ヲ踏マザル者獄門ノ事」とあり、キリスト 像の頭のところに Christrと書いてあります。

次に「矢立て」(携帯筆記具)ですが、墨壺の蓋の裏に巧妙に十字架が隠されています。当資料室のものは江戸時代18世紀につくられたものとされています。「十一面千手観音菩薩像」は像の裏に十字架が彫刻されています。この箱書きには「荒神之像」とあり、「隠吉利支丹南蛮佛萬利屋像」と添書があります。これらは校友の羽坂勇司理事長が1983年ロンドンのSotherby商会のオークションで入手し、寄贈されたものです。さらにキリシタン武士が着用したと思われる鎧がありますが、鎧の胴裏に巧みにキリストの十字架が彫られています。「隠切支丹」史料の他に、カトリック教徒が祈りの時に用いる数珠があり、かなり古いものと思われますが、年代不詳です。寄贈者は元幼稚園主事南澤志げ氏です。

#### シリーズ・キリスト教図書紹介

# 『代表的日本人』

内村鑑三 著·鈴木範久 訳(岩波書店)

#### 芹田 敏夫

経済学部教授



近頃、武士道がブームとなっている。本書は新渡戸稲造の「武士道」と並んで、明治期の西欧に向けて英文で書かれた日本人論の代表作である。

本書は、武士の子として生まれた内村鑑三が、世界に誇るべき日本人の優れた生き方を選んだ5人を通じて示したものである。その5人とは、西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮上人である。

著者が代表的日本人として選んだ5人はいずれも有名ではあるものの、意外な人選と思われるかもしれない。現代の日本人の多くは、これら5人についてよく知らないのではないであろうか。

彼ら5人の生き方に共通することは、自分を極限まで律して利己心を抑え、正義のために行動し、当時の人々をはじめ、影響を受けた人々を通じて後世に大きな影響を与えたことである。また、その影響の与え方は、言葉や教えよりも自らの行動を通じて人々の考え方や生き方を大きく変えることに成功した点に特徴がある。

これらの5人について、個人的には好き嫌いがあるかもしれない。しかし、5人の生き

方には畏敬の念を持たざるを得ないであろう。 個人的には上杉鷹山が最も好きで何度も読んでいる。また、本書を読んだ米国のJ.F.ケネディ大統領は、日本で最も尊敬する政治家は誰かとの問いに上杉鷹山と答えている。鷹山は米沢藩の存亡の危機に藩主となり、まず自らの行動で徹底した倹約と民への愛を示すことによって、多くの賛同者を得て米沢藩の改革を成功させた。本書では「天の王国」に似た王国を実現したと述べられているが、全く同感である(なお、上杉鷹山の生き方をもっと知りたい方には、童門冬二「小説上杉鷹山」、(集英社文庫)をご参照されたい)。

また、本書を通読してみると、ナショナリズムの香りが強過ぎるとの印象を受ける。 しかし、2つのJ (Jesus and Japan)を愛すると言った著者の日本に対する熱い思いが心に強く響いてくる。

ところで、著者は日本人の優れた道徳を 手放しで礼賛しているわけではないことに 注意すべきである。そのことは、本書のド イツ語訳版後記にある以下の記述からわかる。 「武士道はたしかに立派であります。それで もやはり、この世の一道徳に過ぎないので あります。・・・武士道では、人を回心させ、 その人を新しい被造者、赦された罪人とす ることは決してできないのであります」。

以上のことから、現代の日本人が忘れかけている、しかし忘れてはならないことを、本書が魅力的な5人を通じて力強く語っていることを伝えることができれば幸いである。 出版後100年近く経た現代においても、いや日本人のアイデンティティーが根本から揺らいでいる現代においてこそ本書をお薦めしたい。

#### シリーズ・私の教会

# 日本キリスト教会 大森教会

中井 章子(なかいあやこ) 女子短期大学 教養学科教授

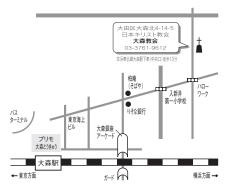
大森教会は、改革主義・長老主義にもとづく 教会で、2005年には、伝道開始101年、教会 建設90年となります。

日曜日の礼拝は朝の10時に始まります。礼拝において、神をともに讃美し、み言葉に聴くことが、落ち着いた雰囲気のなかでなされ、何度も読んだことのある聖書の言葉もまるで初めて聴いたかのように心に沁み入ってくることが、とてもうれしいです。説教をとおして、時代を超えて普遍的であるからこそ、現代に生きる疲れた魂を生きかえらせるメッセージが語られ、新しい一週間を始めるエネルギーが与えられます。

大森教会は、11月に「大森講座」という神 学講座を主催しており、若手の牧師先生方が 多様な神学的テーマで講演し、その内容は新 教出版社から「大森講座」のシリーズとして出 版されています。地道な、味のある取り組みだ と思います。

この大森教会に私は数年前に転入しました。 高校生のときに柏木教会で植村環牧師をとお して洗礼を受け、大学生のときには日曜学校 の教師をしていたこともありますが、その後 長い間、海外留学などをはさみ、教会のなかに 定まった居場所をもたない時期がありました。 大学時代には内村鑑三の無教会の流れを汲む 先生方の薫陶をうけ、ドイツ・アメリカ・イギ リスで学んでいたときには、さまざまな宗派 の教会の礼拝に出席しました。ドイツ滞在中 には、中世の女性神秘家ヒルデガルト・フォン・ ビンゲンの名を冠したベネディクト会の尼僧 院に一週間滞在し、石の礼拝堂に響くグレゴ リオ聖歌の祈りの時間に一日に何度も参加し たことがあります。ポーランドのウクライナ 国境近くでは、美しい木造の正教会の復活祭





礼拝に出席しました。座席がなく、全会衆は立ちつづけで、力強い聖歌が響き、教会全体が楽器のようでした。青山学院女子短期大学に働き場を与えられてからは、大学の礼拝において、異なった教会に所属するさまざまな先生方のお話をうかがってきました。私にとっては、これらの機会のひとつひとつも「私の教会」だったのだと思われます。

世界中の人間が多様なように、教会も多様であり、それぞれに良さがあると感じています。 大森教会は、地味な大人の教会、日本のなかで歴史をきざんできた教会、という気がします。 若い頃キリスト教に惹かれたけれど、結局は教会になじめなかったという日本人も多くおられます。そのようななかで、信仰の人生を歩んで来られた先輩方と共に礼拝を守れることに感動し、赤ちゃんや若い人々の存在に未来の希望を感じます。

# 幼稚園 より

長い夏休みが終わり、またひと回り大きくなった子どもたちとともに、充実の2学期が始まります。様々な行事も計画されていますが、その一つひとつの経験を通して、神様に与えられている恵みを感じ、感謝して過ごしていきたいと思います。

#### 軽井沢キャンプ

9月7日~9日

年長組40人の子どもたちが、自然豊かな「やまのおうち」に出かけます。

#### 敬老の会

9月17日

大好きな祖父母の方々と一緒に礼拝を守り、そして手作りのプレゼントをお渡しするなど、楽しいひとときを過ごします。

#### 子どもフェスタ

10月9日

保護者会主催の子どものためのお祭りです。年 長児が販売する子どもたちの手作りクッキーの収 益金は、CCWAに献げられます。

#### 運動会

10月21日

神様からいただいた力を存分に使って、思いつ切り身体を動かします。

#### 秋の遠足

10月29日

大きなおいもを掘ったり、大根をぬいたり、木 の実を集めたり、秋の実りを感じます。

#### 収穫感謝祭

11月19日

秋の収穫物を囲んで感謝の礼拝を守り、また日頃お世話になっている学院内の方々にお届けします。

#### アドヴェント礼拝

11月26日、12月3日、10日

アドヴェントクランツに1本ずつ火を灯し、クリスマスを迎える心の準備をしていきます。

#### クリスマス礼拝

12月15日

年長児による生誕劇を中心に、子どもたち、保 護者の方々と皆でイエス様の誕生をお祝いします。 (教諭 久洋子)

# 初等部より

夏休みも終わり、子どもたちの元気な声が、学校に戻ってきました。2学期は、初等部の新校舎の一つめができあがり、引っ越しがあります。新しい器でどんな生活が始まるのか、楽しみです。

#### なかよしキャンプ

7月19日(月)~23日(金)

1年生のキリスト教キャンプ。清里の清泉寮にて行われました。神様の造られた自然の中で、たくさんの恵みを感じ、祈り、みことばに出会います。キャンプの終わりには、聖書を手渡され、2学期からの学校生活から大切に使っていきます。

#### 教職員退修会

8月30日(月)~31日(火)

御殿場の東山荘にて行われました。テーマは、「静聴と傾聴」。講師は、斉藤友紀雄先生(日本いのちの電話連盟常務理事)。

#### 聖書週間特別礼拝

10月12日(火)

聖書の御言葉を大切にしつつ、御言葉に聴く1 週間。

(宗教主任 小澤 淳一)



#### 伝道週間礼拝

6月7~11日の一週間の内、8、10、11の三日

間の礼拝に、四谷新生教会の薛恩峰(シュエ エン フゥン) 先生をお招きしました。先生は中国生まれで、苦学の末、同志社大大学院、立教大大学院で学ばれ、教団の牧師になられました。太極拳を礼拝の初めに見せて下さるなど、親しみ深いメッセージを頂きました。

#### CF活動(クリスチャン・フェローシップ)

6月18日(金)、広尾の日本赤十字社医療センターに初めて奉仕活動に伺いました。前年度から何回も日赤の担当者と打ち合わせをし、中学生にできることとして前庭ロータリーの除草作業をしました。放課後、学校から歩いて行き、4時半から5時半まで。ミミズやダンゴ虫に喚声をあげつつ、楽しく奉仕をしました。生徒36人のほか、保護者がお一人参加して下さったことは感謝でした。

#### 緑蔭キャンプ (7.21~23)

今夏も高等部の追分寮を拝借し、11名という小グループでしたが実り多いプログラムを持ちました。教団の追分教会を訪問し、望月牧師のお話と、パイプ・オルガン演奏に耳を傾けました。その他、メルシャン美術館鑑賞、ピッキオのレンジャーによるベア・ドッグ(熊警戒犬)をつれての自然観察指導など、充実したプログラムを持ちました。

#### 教職員秋の修養会

9月24日(金)、NPO「日本こどものための委員会」のカウンセラー渡辺紀久子先生をお招きして、 北米を中心にドイツ、ノルウェー等で実施されている暴力防止プログラムを学びます。

(宗教主任 石丸 泰樹)



#### 特別礼拝

高等部では毎年5月に特別礼拝を行っていますが、今年は12日(水)、講師にヒロ&リエ(加賀美宏次、梨瑛)夫妻を招いて礼拝を行いました。ヒロ&リエさんは、現在ゴスペル歌手として活躍されています。当日はヒロさんの早稲田大学モダンジャズ部時代の話から、洗礼を受けた話まで、またリエさんのお

話とゴスペルの歌を興味深く聴くことができました。

#### 伝道週間礼拝

6月21日~25日の伝道週間には、講師に梅ヶ丘教会牧師の塩谷直也氏をお招きしました。塩谷先生はマンガを描くのがとても上手で、漫画を描きながら聖書の話を分かり易く、また感銘深く語ってくださいました。「最高の贈り物」という総主題の下に、「きく」(列王記上19:1~6)、「はなす」(ヤコブ3:8~12)、「みる」(詩編8:1~10)の3つの贈り物について、素晴らしいメッセージをくださいました。

#### グリーンキャンプ

今年のグリーンキャンプは昨年に続きアジア学院(栃木県西那須野)で7月22日~24日に行います。アジア学院は農村指導者養成専門学校で、アジア各国からの留学生が30人程学んでいます。ここで私たちも農業、養鶏、養豚等食べ物にかかわる作業をさせてもらいます。私たちも30人ほどの生徒が参加しますが、今年もアジアの学生との交流、農業経験他、貴重な体験を得られることと思います。 (宗教主任 坂上三男)



#### 青山学院創立130周年記念ゲーテ合唱団コンサート

2004年10月2日 (土) 14:00~16:00 (開場13:30) ガウチャー記念礼拝堂

チケット希望者は短大宗教センターへ (無料)

#### 青山祭開会礼拝

2004年10月30日(土) 女子短期大学礼拝堂

#### 後期(青山祭)チャペルコンサート

2004年10月30日(土) 女子短期大学礼拝堂

#### 青山祭 宗教活動委員会

2004年10月30日(土)~31日(日) 女子短期大学校舎 S202

# 宗教センターだより

#### 創立記念日礼拝

2004年11月17日(水) 12:30~13:00 女子短期大学礼拝堂

#### クリスマス礼拝

2004年12月8日(水)13:00~14:30 青学講堂

(宗教活動委員 湯本 久美子)

大学 より

#### ランチタイム・コンサート

◇青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

① 期 日 5月21日(金)

12:35~13:05

演奏者 筒井淳子氏(本学オルガニスト)

② 期 日 6月10日(木)

12:35~13:05

演奏者 鷺 晶子氏(本学オルガニスト)

◇相模原キャンパス ウェスレー・チャペル

(1) 期 日 5月21日(金)

12:35~13:05

演奏者 岡井 晃氏(本学オルガニスト)

② 期 日 7月1日(木)

12:35~13:05

演奏者 作井 清雅子氏(本学オルガニスト)

#### 東北学院大学との合同チャプレン会議

期 日:7月16日(金)·17日(土)

場 所:東北学院大学 土樋キャンパス

主 題: [日本の大学の神学]

#### 清里サマー・カレッジ

期 日:8月1日(日)~3日(火)

場 所:大学八ヶ岳寮

講師:日本キリスト教団 梅ヶ丘教会牧師

塩谷直也氏

主 題:「人は何のために生きるのか」

#### 教会と大学宗教主任との懇談会

期 日:7月30日(金)

10:30~14:00

場 所:相模原キャンパス

(宗教センター事務長 田中 健夫)

本部 より

#### イースター音楽礼拝

期 日:4月19日(月)

17:00~18:00

場 所:ガウチャー記念礼拝堂

司 式: R.M. タヒューン 宣教師

説 教:大庭昭博(大学宗教主任)

独唱:角野 彰(高等部教諭)

#### おーる あおやま あーと てん 04

テーマ: 「自然・神・人」

期 日:6月7日(月)~17日(木)

場 所:女子短期大学ギャラリー

#### あーとてん フォーラム 04

テーマ: 「イエスの譬えの図像表現」

期 日:6月15日(火)

17:00~18:30

場 所:女子短期大学礼拝堂

講 師:細田あや子氏

(新潟大学人文学部助教授

・日本キリスト教団 井草教会会員)

(宗教センター事務長 田中 健夫)

#### 編集後記

法科大学院はどんな学校なのでしょうか。専門職大学院という新しい部門でキリスト教教育がどうなっているのか気になります。女子短期大学は近づき難いけれど「おーるあおやまあーとてん」は見たかったという方もいるかもしれません。

今年度の編集委員会が担当した最初の号は「特集」を 組まず、青山学院の現在を考えるいくつかの話題を取り 上げました。いつも通りの連載やシリーズものも含めて、 ご多忙の中でご執筆くださった皆様に感謝いたします。

(黒沼 健)

#### Wesley Hall News 第81号

発行 青山学院宗教センター 宗教部長 東方敬信 東京都渋谷区渋谷4-4-25

TEL.03-3409-6537 (ダイヤルイン)
URL.http://www.aoyamagakuin.jp/rcenter/index.html
E-mail.agcac@jm.aoyama.ac.jp

編集 ウェスレー・ホール・ニュース編集委員会

印刷 万全社

16